



変化し続ける社会、より良い行政とは

近畿管区行政評価局評価監視部評価監視調査官

竹内 秀興 TAKEUCHI Hidetaka

- 平成18年 4月 総務省採用
近畿管区行政評価局
- 平成19年 4月 京都行政評価事務所評価監視官付
- 平成20年 4月 行政評価局総務課
- 平成21年 4月 行政評価局評価監視官付
- 平成22年 4月 京都行政評価事務所
年金記録確認京都地方第三者委員会事務局調査員
- 平成24年 4月 京都行政評価事務所行政相談課業務係長
- 平成25年 4月 兵庫行政評価事務所評価監視調査官(総務課)
- 平成27年 1月 兵庫行政評価事務所管理専門官
- 平成27年 4月 近畿管区行政評価局第二部評価監視調査官(総務課)
- 平成27年 8月 近畿管区行政評価局総務行政相談部総務課人事係長
- 平成29年 12月 現職

■“より良い行政を目指す”様々な調査

全国各地の管区行政評価局では、地域における国の行政の実態把握や改善を行うことを目的として、行政評価局調査、行政相談、情報収集活動等の業務を実施しています。私は入省から12年間、これらの業務を経験し、現在は行政評価局調査を担当しています。

管区行政評価局の調査担当者は、4か月周期を基本に、様々な行政課題をテーマとした調査を実施しています。①全国調査網を活用した調査(本省が企画)、②地域計画調査(管区行政評価局等が企画)の2種類の調査がありますが、いずれの場合も、管区行政評価局では4か月ごとに次々と新たなテーマの調査に取り組むことになります。私がこれまでに携わった調査テーマを挙げるだけでも、労働安全、観光振興、年金、研修施設の管理、物品の調達・・・と多岐にわたります。

■日頃から情報収集、チームで情報交換

多様な調査テーマについて、社会の変化のスピードに対応した適切な改善策を導き出すためには、日頃の情報収集が肝要となります。報道や書籍からだけでなく、普段通りかかる風景の移ろい、道行く人の会話・・・日常生活からキャッチできる事柄もあります。今、この場所で、何が課題となっていて、どうあるべきなのか。アンテナを張り巡らせてつつ、日々勉強です。

また、職場での情報交換も大切です。職員の人柄や得意分野は様々ですが、業務を通じて(業務と関係ないことも・・・?)自然と議論や意見交換が行われる雰囲気があります。若手であっても、意見を求められ、チームの一員として業務に携わります。

どんなタイプの方も歓迎です。“より良い行政を目指す”私たちの仕事に少しでも興味を持たれたようでしたら、是非、一緒に働きましょう。

Week Schedule

- Mon 観光旅行者向けの案内表示等を調査中。現地確認は旅行者の目線で。



- Tue 調査日程も半分を終え、チームで情報共有と調査結果の整理。
- Wed これまでの調査結果を管区局長へ説明。今後の方向性を確認。
- Thu 調査も後半戦。ヒアリングを依頼する電話をあちこちへ。
- Fri 関係団体へヒアリング。旅行者の利便性向上の更なるヒントを探る。

Private Life

1男1女の父で、休日はおおむね家族と過ごしています。子どもがそれぞれ習いごとを始め、妻が娘のバレエの付添い、私が息子のボーイスカウトの付添いという分担になっています。また、時々、職場の先輩・後輩と、休みの日に山登りに出かけたり、仕事の後にカラオケに歌いに行ったりすることもあります。

